

次期学習指導要領が掲げる理念

教務主任 太田 博英

「先生!正七角形はかけます!」

かつて受けもったクラスのこどもが言っていた言葉です。5年生の算数の学習では、円の中心角を等分して、正多角形を作図する学習があります。正三角形や正六角形は円の中心角を等分することができるので、かくことができます。では正七角形はどうでしょう。360度を7で割ることはできません。小学校5年生時点では、かくことができないのですが、それでも「実は $360 \div 7$ は割り切れるのでは?」や「他のかき方があってその方法だとかけるのでは?」と問いをもってなんとか正七角形をかこうとしていました。

結局、授業の中では正七角形をかくことができなかったのですが、家で調べてきて「正七角形はかける」ということが分かりました。「じゃあ正十一角形もかけそう!」など次なる学びのストーリーをこども自身が作っていました。

この時のことを思い出すと、まさに2030年より全面実施予定の次期学習指導要領が掲げる考え方の一つである「自らの人生を舵取りできる力」の育成に繋がっていたと感じます。言い換えると「問いをもって自ら学びの設計図をえがき、実行する。」このようなことができるようになったとき、自らも人生の見通しをもちながら舵取りできるようになるのではないかと、そう考えます。

横浜市も「第5期 横浜市教育振興基本計画」にある「横浜の教育が目指す人づくり」の中で、

自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人

という言葉掲げています(右図参照)。

せっかくの夏休み。図にもあるように、「どうしてかな?」「やってみたい!」というこどもの思いに対して、探究する時間を設けることで、自ら学んでいく土台がつくられるかもしれません。ぜひ、いろいろなことに興味をもって「探究的に」何かに取り組んでほしいと思います。

夏休み明け、元気に登校してくることを楽しみにしています。



〒236-0037 横浜市金沢区六浦東三丁目2番1号

TEL 781-2446・2447 FAX 701-4892

学校ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/segasaki/> (QRコードはこちらから) →

